

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平4-128728

(43) 公開日 平成4年(1992)11月25日

(51) IntCl <sup>5</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 1 F 13/15				
13/54				
5/41				
	H	7807-4C		
		7603-4C		
		2119-3B		
			A 6 1 F 13/18	3 0 1
			A 4 1 B 13/02	E

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全 2 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 実開平3-35462

(22) 出願日 平成3年(1991)5月20日

(71) 出願人 000000918

花王株式会社

東京都中央区日本橋茅場町1丁目14番10号

(72) 考案者 荒牧 由美子

栃木県宇都宮市東宿郷3-9-7 エクセ

ルイン東宿郷203号

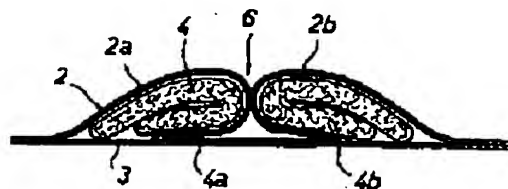
(74) 代理人 弁理士 羽鳥 修

(54) 【考案の名称】 吸収性物品

(57) 【要約】

【目的】 フィット性に優れ、排泄時の液をスポット吸収し且つ排泄物の吸収後にも快適な吸収性物品の提供。

【構成】 本考案は、液透過性の表面材2と、液不透過性の防漏材3、及びこれらの表面材2と防漏材3との間に配置された吸収体4とよりなる生理用ナプキン1において、該吸収体4が長手方向に沿って2つの吸収体部分4a、4bとに分割されて、上記表面材2は分割された上記吸収体4a、4bをそれぞれ別々に被覆する表面材部分2a、2bを有し、該一對の表面材部分は上記生理用ナプキン1の長手方向前後端部5、6において互いに接合され且つ上記前後端部5、6の間が非接合であり、該非接合部7に対応する部位において上記吸収性物品の短手方向の外側には、着用者のショーツ等に貼着される一對のウイング8a、8bが設けられている。



I

2

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 液透過性の表面材と、液不透過性の防漏材、及びこれらの表面材と防漏材との間に配置された吸収体とを有する吸収性物品において、該吸収体は長手方向に沿って2つに分割されており、上記表面材は分割された上記吸収体をそれぞれ別々に被覆する一对の表面材部分を有し、該一对の表面材部分は上記吸収性物品の長手方向前後端部が互いに接合され且つ上記前後端部間が非接合であり、該非接合部に対応する部位において上記吸収性物品の短手方向の外側には、着用者のショーツ等に貼着される一对のウイングが設けられていることを特徴とする吸収性物品。

【請求項2】 上記非接合部が上記吸収性物品の長手方向前方に偏倚して位置することを特徴とする請求項1記載の吸収性物品。

【請求項3】 上記吸収性物品は、上記非接合部に対応する位置において、その短手方向両側部が凹状に形成さ

れていることを特徴とする請求項1記載の吸収性物品。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の実施例による生理用ナプキンの平面図である。

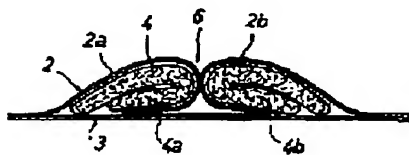
【図2】 図1に示す生理用ナプキンの後端部における横断面図である。

【図3】 図1に示す生理用ナプキンの非接合部における横断面図である。

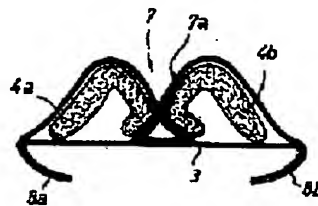
【符号の説明】

- 1 生理用ナプキン  
2 表面シート  
3 防漏シート  
4 a、4 b 吸収体部分  
5、6 両端部  
7 非接合部  
8 a、8 b ウイング

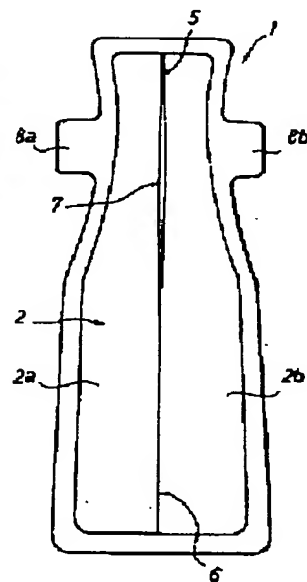
【図1】



【図2】



【図3】



フロントページの続き

(51) Int. Cl.<sup>5</sup>

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

7603-4C

A 61 F 13/18

340

【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本考案は、生理用ナプキン、使い捨ておむつ等の吸収性物品に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

近年の生理用ナプキンは、着用者の体にフィットし易くなっているものの、股間部の複雑な形状や、臀部の形状に対して十分にフィットすることができなかった。

かかるフィット性を高めるため、例えば、特開昭59-166146号公報及び実開昭59-46523号公報には、生理用ナプキンの略中央の長手方向に沿って、吸収体全体を2つに分割し、吸収体に加えられる応力に対して容易に変形し易くした構成が開示されている。

【0003】

また、実開昭59-190236号公報には、着用中に最も変形応力が集中する吸収体の中央部にのみスリットを形成し、吸収体の変形を可能にしてフィット性の向上を図る構成が開示されている。

【0004】

【考案が解決しようとする課題】

しかし乍ら、上述した前者（特開昭59-166146号公報及び実開昭59-46523号公報）の生理用ナプキンにおいては、該ナプキンの長手方向全体に渡って2分割されているため、変形しやすいが、変形した後に元の形に戻り難いという問題点がある。このように変形した形が戻り難いと、複雑な着用者の動きに追従できず、却ってフィット性に欠け、吸収時における液漏れの原因にもなるという課題がある。

【0005】

また、後者（実開昭59-190236号公報）においては、応力が集中する略中央部にのみスリットを形成する構成であるから、吸収体の変形と戻りが容易

であり、フィット性に優れるが、スリットが形成されているだけでは、経血のスポット吸収が充分にできず、経血が吸収体の表面に広がってしまい経血吸収後に不快感が残るという問題点がある。

【0006】

従って、本考案の目的は、フィット性に優れ、排泄時の液をスポット吸収し且つ排泄物の吸収後にも快適な吸収性物品を提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】

本考案は、液透過性の表面材と、液不透過性の防漏材、及びこれらの表面材と防漏材との間に配置された吸収体とを有する吸収性物品において、該吸収体は長手方向に沿って2つに分割されており、上記表面材は分割された上記吸収体をそれぞれ別々に被覆する一対の表面材部分を有し、該一対の表面材部分は上記吸収性物品の長手方向前後端部が互いに接合され且つ上記前後端部間が非接合であり、該非接合部位に対応する部位において上記吸収性物品の短手方向の外側には、着用者のショーツ等に貼着される一対のウイングが設けられていることを特徴とする吸収性物品を提供することにより、上記目的を達成したものである。

【0008】

【作用】

本考案による吸収性物品は、吸収性物品のウイングを着用者のショーツ等に貼着し、分割された吸収体の非接合部分を開いて、前後端部の間に凹状を形成するようにして装着する。

従って、前後端部の間が凹状のスポット吸収部として排泄物を吸収し、人体に接触する吸収体表面側での排泄物の拡がりが防止される。

【0009】

また、吸収体は全体として分割された構成であるから着用者の動きや吸収体に加わる応力を吸収して弾性変形が容易となり、着用者に確実にフィットする。

【0010】

【実施例】

以下に、添付図面を参照し乍ら本考案の好ましい実施例を詳細に説明する。

図1及び図2に示すように、本考案による生理用ナプキン1は、液透過性の表面材2と、液不透過性の防漏材3、及びこれらの表面材2と防漏材3との間に配置された吸収体4とよりなり、該吸収体4が長手方向に沿って2つの吸収体部分4a、4bとに分割されて、上記表面材2は分割された上記吸収体4a、4bをそれぞれ別々に被覆する一対の表面材部分2a、2bを有し、該一対の表面材部分2a、2bは、上記生理用ナプキン1の長手方向前後端部5、6が互いに接合され且つ前後端部5、6間の中央部には、非接合部7が形成されており、該非接合部7の位置に対応する部位において上記生理用ナプキンの短手方向の外側には、着用者のショーツ等に貼着される一対のウイング8a、8bが設けられている。

#### 【0011】

生理用ナプキン1の形状は全体として長四角形状に形成されており、上記非接合部7が上記吸収性物品の長手方向前端部5側に偏倚して位置し、更に、該非接合部7に対応する位置において、その短手方向両側部が凹状に形成されている。

上記表面材2は、排泄物を吸収体4へ透過させる液透過性シートで肌着に近い感触を有したものが好ましく、このような液透過性シートとしては、例えば、織布、不織布、多孔性フィルム等が好ましい。また、表面材2の周縁部にシリコン系油剤、パラフィンワックス等の疎水性化合物を塗布する方法や、予めアルキルリン酸エステルのような親水性化合物を塗布し、周縁部を温水で洗浄する方法により撥水処理を施し、周縁部における尿等の滲みによる漏れを防止することができる。

#### 【0012】

この表面材2は、後述する分割された吸収体4の各分割部分4a、4bをそれぞれ個別に被覆する表面材部分2a、2bから構成されている。

防漏材3は熱可塑性樹脂にフィラーを加えて延伸した液不透過性且つ蒸気を透過させる蒸気透過性のシートが用いられ、肌着に近い感触を有したものの、例えば、フィルムと不織布との複合材、あるいはフィルムと織布との複合材料等が用いられる。

#### 【0013】

吸収体4としては、解繊バルブを主材とし、高分子吸水ポリマーを併用したものが好ましく、そのほか、熱可塑性樹脂、セルロース繊維、高分子吸水ポリマーの混合物に熱処理したものなどが好ましい。高分子吸水ポリマーの存在位置は、上層、中層、下層のいずれであってもよく、バルブと混合したものであってもよい。該高分子吸水ポリマーは、自重の20倍以上の液体を吸収して保持し得る保持性能を有し、ゲル化する性質を有する粒子状のものが好ましく、このような高分子吸水ポリマーとしては、デンプン-アクリル酸（塩）グラフト共重合体、デンプン-アクリロニトリル共重合体のケン化物、ナトリウムカルボキシメチルセルロースの架橋物、アクリル酸（塩）重合体などが好ましい。形状としては、着用者の体型に併せた砂時計の形状が好ましいが、矩形であってもよい。

#### 【0014】

吸収体4は、その略中央部が長手方向に沿ってその一端から他端に渡って、吸収体部分4a、4bとに分割されおり、各吸収体部分4a、4bは、前述の表面材部分2a、2bによって被覆されている。

表面材部分2a、2bは、吸収体4の前端部5と後端部6において、互いに粘着され、排泄ポイントにあたる非接合部7のみが非接着状態になっている。

#### 【0015】

分割された各吸収体部分4a、4bは、図2に示すように、それぞれ互いに体面する非接合部7において防漏材3側に折り畳まれている。このように折り畳むことにより、これらの吸収体部分4a、4bが起立した際に、図3に示すように、折り畳まれた部分が互いに突き合わされて非接合部7に溝状の凹部7aを形成するようになっている。

#### 【0016】

ウイング8a、8bは、図1に示すように、非接合部7に対応する位置の短手方向外方向に延出されている。該ウイング8a、8bには、表面側に粘着剤が貼付されており、使用時にシール（図示せず）を剥がしてショーツ等に粘着するようになっている。また、ウイング8a、8bは、その基端部が上述の表面材2に接続されており、ウイング8a、8bを短手方向外方に引っ張ると表面材部分2a、2bを同方向に引っ張り、折り畳んだ各吸収体4a、4bを起立させるよう

になっている。

【0017】

次に、本実施例の動作について説明する。

生理用ナプキン1の着用時には、図1に示す状態において、着用者の股下に表面材2の面を当てるように上方に向け、ウイング8a、8bを下方に折り曲げて、貼着部のシールを剥がしてショーツ等に貼着する。

この状態では、図3に示すように、非接合部7において、各吸収体部分4a、4bが互いに離れて、開いた状態となる。このとき、非接合部7は凹部7aを形成し、ここが排泄ポイントとなる。即ち、着用者の皮膚表面から離れた位置である凹部7aは排泄ポイントとなる。従って、排泄時には、経血はかかる凹部7aにおいて吸収し、この部分で吸収した経血を拡散するので、人体の皮膚に接する表面側への経血の広がりを防止するので、着用者は快適感を得ることができる。

【0018】

また、排泄ポイントとしての非接合部7は凹部7aを形成しているために、その部分の表面積を広く取ることができ、経血の吸収面積が広く充分な吸収を図ることができる。

更に、非接合部7は凹部7aの形成時、図3に示すように、中央が高く立体的になっているので、臀部に沿う形状となり、着用者へのフィット性が良い。

【0019】

また、吸収体4は2つの吸収体部分4a、4bとして長手方向に沿って完全に分割されているため、一体形成している場合に比較して弾性変形が容易であり、体の股間部の複雑な形状及び臀部の形状にフィットするとともに、左右に限らず、前後の湾曲にもフィットすることができる。

【0020】

【考案の効果】

本考案の吸収性物品は、フィット性に優れ、排泄時の液をスポット吸収し且つ排泄物の吸収後にも快適である。